



「世を知り、己を知る」人材の育成へ！

中学生の海外派遣事業を実施

24年度当初予算の中に青山ゆたかが昨年6月定例会の一般質問で提案した「中学生海外派遣事業」422万円が盛り込まれました。これは22年度まで実施されていた大森中学校の生徒海外研修事業を再開、応募対象を市内の全中学生に拡大させるものです。国際交流体

験を通じての国際理解と人材育成を目的としています。想定される派遣先はオーストラリアで帰国後に海外体験報告会の開催も予定しています。
 〈派遣人数〉 15名〜20名程度
 〈自己負担額〉 最大で15万円（飛行機の燃料サーチャージ代による）

交流人口増加で地域活性化へ！ スポーツ合宿・大会や コンベンション誘致を推進

その他、交流人口の増加を目的としたスポーツ合宿・大会（昨年12月定例会提案）やコンベンション（昨年12月定例会提案）誘致に向けた予算も計上されました。スポーツ合宿・大会の誘致は市長の施政方針にも盛り込まれ、「スポーツのまちづくり事業」での柱となります。コンベンション誘致は24年度においては事業推進に向けて、現状や先進地の調査を実施、コンベンション協会を立ち上げる予定です。



▲毎年横手で夏合宿をする玉川大女子バスケット部

政策実現に向けてがんばっていきます。

本会議

★「道の駅十文字」は市内で屈指の集客力を誇っている。ここを増田地区の「内蔵」へと誘う重要な施設と位置付け、様々な仕掛けを実施すべき。



道の駅十文字

総務文教常任委員会・分科会

★市報について、現状のPDF化から一歩踏み込んで電子書籍化できないか。
 ☆選挙費について、期日前投票所を「人の集まる場所」に設置し、投票率を上げる取り組みが検討されているが、来年春の知事選に向けてその進捗状況は？
 ☆中学生海外派遣事業について、自己負担15万円（上限）は家庭に

3月定例会

青山ゆたか 主な発言録



▲自分のチカラ研究所（「人財立市」事業）



▲自治基本条例公開講座

重くのしかかる。小学生時に前もって周知すれば計画的な資金づくりが可能になる。周知方法についての考えは？
 ★自治基本条例について、今夏までの素案完成というスケジュールは大丈夫か？スケジュールをずらしても、じっくりと協議した方がいいのではないかと。
 ★「人財立市」事業について、参加者の勤務する職場のトップや上司の理解が不可欠。募集方法や説明の仕方、開催日の工夫をしてほしい。